

渦巻き

森野 水琴

昨夜降りつもった雪が田を覆っている。学校から自宅に帰り、ランドセルを置くのもどかしく、子供たちが神社の近くの田に集まる。

六年生が先頭になり、横並びで雪を踏みながら螺旋を描いていく。中心で折り返して二重の螺旋が描かれた。子供たちは、この螺旋を渦巻きと呼んでいる。

一年生から学年順に並び、渦巻きの中を走る。最後尾から鬼役の六年生が追いかけるのだから、一年生は逃げるように走る。鬼に追いつかれた者は、次回は鬼役として後ろから追いかけなければならぬ。何回か繰り返すと体が温まり、程よい疲れと空腹から、「また明日」と言いながら、それぞれ家路を急ぐ。

夜が更けて、子供たちのざわめきの余韻を吸い込むように雪が降る。

しんしんと ただ しんしんと